

NPO法人ありんこに
関する詳しい情報は
公式ホームページ
arinnko.sakura.ne.jp
にて公開中!!

ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部

編集責任者 一戸 由佳

住所 青森県弘前市大字富栄
字笹崎80-1

電話 0172-96-2774

Fax 0172-55-9591

寄付金贈呈式〜久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部様〜

久光製薬株式会社では『久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部』というマッチングギフト制度があり、その趣旨に賛同する役員及び社員の皆さんが毎月積み立てた金額に、会社側から同額を上乗せしたものを運営資金として、社員の方からの推薦を受けた団体等に寄付されるそうです。

ありんこまつりにボランティアとして協力してくださっている久光製薬社員の方が、昨年仙台支店の支店長と一緒に見えになり、当法人の活動についてお話することができました。

そしてこのたび、寄付をいただけることとなり、今年1月24日(金)、再びお二人で寄付目録の贈呈にお越しくださいました。

贈呈式では中学部の松尾百花さんが寄付目録を、高等部の一戸やよいさんが記念品をそれぞれ受け取り、支店長から、「皆さんの活動に役立ててください。」という温かいお言葉を頂戴しました。子どもたちを代表して高等部の板垣優花さんと中学部の畠山亮侑くんがお礼の言葉を述べ、それに続いて子どもたちが皆で「ありがとうございました」と声を揃えました。その後集合写真を撮影し、和やかな雰囲気の中で、みんな笑顔で式を終えることができました。寄付の使い道は、今後よく考えて有意義に活用させていただきます。本当にありがとうございました。



理事長のつぶやき

「新型コロナウイルス」

なんだか大変なことになってきた。イベントは延期や中止になり、学校が臨時休校になり、卒業式も縮小して行方らしい。

マスクや消毒用のアルコールがドラッグストアから消え、開店前の店先には長蛇の列ができる。

確かに新型コロナウイルスは、予防のためのワクチンや、治療のための特效薬がまだないため、「未知への不安」はあるが、感染力や重症化率、死亡率をみて、そこまで恐れる必要があるのか? いや、正しく恐れなければ。

今回の騒動をみていて、東日本大震災の後の放射性物質への国民の恐怖を思い出した。

目に見えないから怖い。目に見えないから根拠が曖昧な、憶測によるデマ、風評被害、偏見や差別が起きる。

風邪だってインフルエンザだって、感染症は頑張ってもうつるときはうつる。

うつっても発症しない場合もあるし、免疫力が低下していれば発症してしまうだろう。

一番大事なのはウイルスをもらわないこと、運ばないことだから、手洗いうがいの方がより肝心だ。

手の指1本1本を意識して、指先の爪の間や指の股、手の甲や手首もしっかりと泡立てたせっけんで洗う。

タオルは共用せず、ペーパータオルなども有効。うがいのときのコップも共用しない方がよいかもしれない。

湿度や温度が下がるとウイルスの残存期間が伸びるので、暖房を適切に使い、加湿をするよう心掛ける。

免疫力の低下を防ぐため、栄養、睡眠をしっかりとる。

どんなに対策しても、これで大丈夫ということがないのが、感染症対策だ。

でも、みんなが「やらなければならないこと」を粛々とやり続けることが大切だ。



今回は、やよいのあかり利用のお母様から、ネットで購入できるかわいいバリアフリー子ども介護服「ぶるちーの」さんをご紹介します。

写真のように装具の上から履けるカバーや、フード付きのバギー用レインカバーなどがオススメとのこと。

デザインやカラーも豊富。暖かくて可愛らしいですね。就学奨励費の対象にもなるそうなので、寒い時期の登下校の際には重宝しそうです。

「ぶるちーの」さんでは他にもスタイやミトン、食事用のエプロンやロンパース、股上深めのパンツ(丈はオーダーできるようです)などの介護服の他、車椅子に掛けられるバッグや医療的ケアが必要なお子さんのためのイルリガードルカバー、ネックホルダーカバーなど、「あったらいいな、かわいいな。」と思えるグッズ満載です。サイトをチェックしてみても、

<http://kodomo-kaigofuku.net/>

私のおススメ 特別編 やよあか保護者

かわいいバリアフリー子ども介護服

ぶるちーの



PULCINO MIO

